

ナリ、今朝瓣ヲツミ采レバ明朝復出、此ノ如クスルコト數日ニシテ盡ク、故ニ源氏物語ニ未摘花ト名ク、瓣ヲ摘ニハ必早晨ヲ以テス、故ニ集解ニ乘露采之ト云リ、花後實ヲ楮中ニ結ブ、熟シテ大サ赤小豆ノ如シ、一方尖リ色白クシテ光アリ、唐山ニテハコノ實ヲ搾リ、油ヲ取り燈ニ點ズ、又杭州ニテ金ノ扇面ヲ僞ルニ、銀紙ニ此油ヲ刷キ、火ニテ炙リナスト、天工開物ニ見タリ、藥ニ入ル、ニハ花瓣ヲ用ユ、卽紅花ナリ、數種アリ、ゼニバナト云ハ、扁クツク子テ錢ノ形ニナシタルヲ云、集解ニ捏成薄餅ト云是ナリ、是ハ多ク染家ニ用ユ、奥州仙臺ヨリ出ルヲ上品トス、出羽ノ山形コレニ次グ、同州谷知、奥州ノ三春之ニ次グ、奥州ノ者ハソノ形小ニシテ薄シ、コレハ瓣ヲトリテ少ヅツ集メ、席ノ上ニナラベ、其上ニ席ヲ蓋ヒ、オモシヲカケ、錢形ニ造ルモノナリト云、肥後ヨリ出ルハ大サ二寸許、厚サ五分許、圓形ニシテ硬シ、コレハ竹筒中ニ入レ擣カタメ、出シテ切タル者ナリト云、又筑後ヨリ出ルハ薄シテ大サ三寸許、是ハ奥州ヨリ出ルモノト、其製同ジト云、又錢バナニ成サズシテ、瓣ヲ摘采タルマ、ニテ出スモノアリ、コレヲツミナリト云、又ジバナトモ云、唐山ニテコレヲ散花ト云、伊勢美濃ヨリ出ルハ皆ツミナリ也、藥ニハ多ク此ツミナリヲ用ユ、藥肆ニテ陳舊ニシテ色ノ變ジタルヲ、藥紅花ト名ケ、售ル、是甚惡シ、新ナルヲ撰ビ用ユベシ、若シ無トキハ錢バナヲ碎キテ、ホドキ花ト云ヲ用ユベシ、

〔農業全書^{三六}〕紅花

うゆる地の事、土性極めてよく、光色ありてうるはしきは、作れる花の色もよく、染付よし、黃赤黒の土の尤肥良なるをゑらびて作るべし、高き田の性よきは猶宜し、夏より數遍耕しさらし、糞をうち熟しからし置たるに、霜月の初申の日蒔べし、又八月地をよくこなし、畦作りし、筋を切、たねを酒に浸す事一宿、灰糞やき土にて、たねを合せ蒔べし、さのみ厚く蒔べからず、苗二三寸の時、中うち芸り、人糞ならば、いかに久しく枯たるを以て、葉にか、らざる様にわきよりかくべし、苗